

議長（志村 忠昭）

おはようございます。

本日も、定刻にご参集を頂きましてありがとうございます。

ただ今、出席議員は14名であります。

よって、地方自治法第113条の規定により、定足数に達しております。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、配布の通りであります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、6番 村岡清邦君、10番 尾崎忠義君を指名致します。

日程第2、一般質問を行います。

質問の通告がありますので、順次発言を許可いたします。

2番、塩野拓二君。

議員（塩野 拓二）

おはようございます。塩野拓二です。

一般質問させていただきます。

2点についてさせていただきます。

まず第1点は、町民のアンケート調査の実施であります。

私はこれまで何度も、目安箱の設置についてお願いしてきました。

しかし町長は、名前や住所を明記していない意見より、町政報告会や対話集会で堂々と言う意見の方に意味があるとして、設置には否定的です。

しかしながら、私が言っている目安箱は、町の施策だけでなく、職員の接遇など窓口における役場の行政サービスの向上も目的であり、職員の意識改革の為にも良いことだと思います。

町長、職員の窓口のサービスは完璧でしょうか。

町民はすべて満足しているとお考えでしょうか。

ご答弁よろしくお願いします。

先日、滝川市に視察に行ってきましたが、そこでは、市民に自由に意見を書いてもらう方式ではなく、あらかじめ示した項目、例えば言葉遣い、職員の町民に対する説明の丁寧さ、身だしなみなどにチェックをってもらうアンケート方式で、職員の接遇態度などを聞いていました。

多度津町でも、こういった方式での実施はどうでしょうか。

役場を訪れた町民から気軽に感想を聞き、これからの窓口サービスの参考とするためには有効と考えますが、町長のお考えをお聞かせください。

2点目です。

2点目は、広島市への支援についてです。

先日の大雨により、広島市では大規模な土砂災害で甚大な被害が発生しています。

そして多くの市民が避難生活を余儀なくされ、今後の復興の見通しも見えない状況にあります。

先の東日本大震災の時には、町として義援金を贈りましたが、今回の災害について、町として何らかの支援を行う予定はないかお伺いします。

以上です。よろしくお願ひします。

町長（丸尾 幸雄）

塩野拓二議員のご質問のうち「町民アンケート調査について」お答えをしてみたいです。

議員ご要望の目安箱の設置も住民の意見を聞く一つ的手段ではあると認識はしております。

しかし現在、多くの町民の皆様からのご意見をお聞きする機会は、町政報告会や対話集会等設けておりますので、真摯な住民ニーズや意見は取り上げられていると考えております。

職員の接遇に関しましては、自己申告シートにて自分の言動に対する意識を高めるよう啓発をしております。

住民目線での住民サービスの向上を目指すため、今年も実施いたしますし、今後も継続的に行ってまいります。

職員の窓口サービスは完璧でしょうか、とのご質問ですが、どんなに完璧を目指していても、全ての町民に満足してもらえるのは困難なことだと思います。

町民皆様から不満が出ず、最大公約数的な町民満足度が得られればよしと思っております。

今回議員が提案していただいた町民アンケート方式では、試験的に役場1階窓口にて実施し、参考にしたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。

次に広島市への支援についてお答えをしてみたいです。

本年は台風や想定外の集中豪雨等により、広島市や北海道、関東地方等全国各地で広範囲にわたり被災され、亡くなられた方も多数に上りました。

心から哀悼の誠を捧げ、お見舞いを申し上げます。

近年、特別警報が発令される事が多く、昨年伊豆大島や京都嵐山で土砂災害や洪水で大きな被害が起きました。

義援金に関しましては、3年半前の東日本大震災時には、多度津町と関わりのあった陸前高田市と亘野町に復旧、復興の為、支援金を贈りました。

広域にわたり地震や津波による未曾有の被害が発生したため、「頑張れ東北！

頑張れ日本！」を合言葉に全国的に暖かい支援の輪が広がっておりました。今回、支援をしようとするれば、広島県のみならず、全国各地で多数の市町村が該当すると思います。

その中で特定して支援することは難しいと考えております。

行政が支援をしようとするれば、税金を活用することになりますので、議会の承認が必要になってきます。

東日本大震災時にも議会にお謀りをいたしました。今後の対応にいたしましても、近隣市町の動向も考慮しながら、議員皆様のご意見もちょうだいして、考えていこうと思っておりますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。

議長（志村 忠昭）

以上で、塩野議員の一般質問に対する答弁は、町長からありましたが、塩野議員、再質問があればお受けいたします。

議員（塩野 拓二）

丁寧なご答弁ありがとうございました。

一つ目の町民のアンケート調査の分ですが、試験的にしていただけるということで、ありがとうございます。

予定としては、いつまでにかはお決めになられているかをお聞きしたいと思えます。

それとあともう一つ、広島の支援ついてですけども、今私の方でも義援金じゃないですけども、坂出の方の商工会であったりとか団体がもう何回も土砂の撤去であったりというのを聞いてます。

その方は職員さんとか市とかではなくて、有志で行かれとるんですけども、思い立ったらする行動みたいな形ですごいなと思ひながら、私も以前東日本大震災の時にボランティアに行ったんですけども、そういったところで私らの以前の多度津支えあい隊ですか、の方も行かないかなという話で、今話が持ち上がるとるんですけど、そういったところの部分で、義援金もそうですけども些細なところの部分ではあるんですけど、今町長おっしゃったように他市町の動向も大事やと思ひますが、率先性に期待したいので、何らかの形でアピールしたい、してほしいなという期待を持ってご要望とさせていただきます。

以上です。

町長（丸尾 幸雄）

塩野拓二議員の再質問のうち、町民アンケート方式についてお答えをします。

アンケート調査はいつまでかというご質問ですけども、これから私どもの担当

と相談をしながら適切な時期に適切な文言を使って、町民の皆様方のニーズを把握できるような、またそういうアンケートを作ってやっていこうと思っております。

その時には、ご連絡を申し上げます。

以上です。

議長（志村 忠昭）

塩野議員いいですか。

議員（塩野 拓二）

先程言っていただいた適切な時期にということですが、また期間が延びずに、またもう一度質問しなくてもいいような時期によろしく願います。

議長（志村 忠昭）

これをもって、2番、塩野議員の質問は終わります。